

船舶法中改正法律案

特別委員會議事速記錄第一號

付託議案

船舶法中改正法律案
船舶職員法中改正法律案

委員氏名

委員長 伯露德川 達孝君 副委員長 黑岡 帶刀君

委員

子爵平松 時厚君 子爵永井 尙敏君 男爵前島 密君
淺田 德則君 男爵毛利 五郎君 長谷川貞雄君
田島竹之助君

明治三十八年一月二十六日(水曜日)午前十一時五十五分開會

○委員長(伯露德川達孝君) ソレデハ此委員會ヲ開キマス、先ツ第一ニ船舶法トッ
レカラ船舶職員法ノ兩案ヲ束ネテノ政府委員ノ御説明ヲ煩ハシマス、ソレカラ御質問ニ
ナルヤウニ御願ヒシマス

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今委員長カラ仰ノ如ク船舶法中ノ改正法ト船舶職

員法中改正法律案ニ就キマシテ審查ヲ煩ハスニ至リマシテ理由ヲ一言イタシタイト考ヘ
マス、先ツ船舶法ノ改正ノ方カラ申シマス、現行法ニ於キマシテハ日本船舶が外國ノ港
ニ碇泊イタシテ居リマス間ニハ船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生ジマシテ
モ假證書ヲ請ヒ受ケルト云フ途ガゴザイマス、ソレバ此度改正ヲ致シマシテ斯カル場合
ニハ假證書ヲ請求スルコトガ出來ルト云フコトニ修正ヲ致シマシタ、要スルニ此船舶ノ便利ヲ通
ズル趣旨ガゴザイマス、次ニハ此船舶國籍證書ヲ授與シテ居ル船舶ガ改造其外ノ理由
ニ因リマシテ之ヲ授與スルコトヲ要セザル船舶トナル、此場合ニ現行法ニ於キマシテハ登
録ヲ抹消スベキ消スベキ規定ガ缺ケテ居リマシテ、手續上ノ不便ガゴザイマス、抹消シテ之ヲ
追加イタシマシテ改正ヲ加ヘテ譯テゴザイマス、ソレカラ從來ノ實地ニ依リマスルコト云フト、船
舶所有者ガ此船舶法ノ規定ニ依リマシテ船舶ノ登録ノ抹消ヲ申請スベキ場合ガ此法律
ノ規定ニ命ゼラレテ居ルノゴザイマス、例ヘバ船舶ガ沈没シタヤウナ場合、其場合ニ
往々ニシテ船舶所有者ガ法律ノ規定ヲ無視シテ……色々ナ事情モゴザイマス、其登録抹消
ヲ申請シナイコトガゴザイマス、之ガ爲ニ船舶原簿即チ臺帳ガゴザイマス、
ソレバ整理イタシマス上ニ於テ甚ダ不都合ヲ感ジテ居リマス、正當ノ理由ナクシテ抹消ス
ル場合ニハ管海官廳ニ於キマシテ職權ヲ以テ正當ノ手續ヲ爲シタル上、之ヲ抹消スル
權限ヲ與ヘテ整理ヲ致シタイト云フ考デゴザイマス、ソレカラ次ニハ罰則ノ中ニ即チ此二
十三條デゴザイマスガ此二十三條ノ規定ニ依リマスルト、第三條即チ船舶法ノ第三條
ノ犯則ニ對シマシテハ情狀ノ如何ニ拘ラズ罰金並船舶沒收ト云フ刑ヲ課スルコト云フコト
ニナリ居リマスガ、段々實地ノ結果、其所爲ノ輕重ガアリマス、其事情ニ因テ船舶沒
收ト云フマデノ刑ヲ課スルコトニシマシテ、此改正ヲ加ヘタノハ制裁ノ寬嚴共ニ其宜シキ
ニ適フヤウニ致シタイト云フノガ趣旨デゴザイマス、要スルニ此船舶法ニ就キマシテハ船舶
國籍證書船舶ノ登録ノコト、並罰則ニ就テ必要ナ修正ヲ加ヘマシタノゴザイマス、次

ニ此船舶職員法ノ改正ノ廉ヲ申述ベマス、此船舶職員法ハ明治二十九年ノ制定デ
アリマシテ、爾來他ノ法律規則等ニ改正ガ加ヘラレマシタニモ拘ラズ、此法律ハ從前ノ
二十九年ノ情況デアリマシテ、爾來海運ノ情況ハ著シク變テ參リマシタ、其實驗ノ結
果、改正ノ必要ヲ感ジタノデアリマス、先ツ其各主要ナル廉ミヲ申上ゲマスルコト云フト、
第一ニ此船舶職員法ノ現行法ニ於キマシテハ、船舶ノ標準即チ其如何ナル職員ヲ乘
組マセベキカト云フ標準ハ總テ登簿噸數ヲ以テ規定ノ原則ト致シテ居リマシタガ、此商
法ニ於キマシテモ船舶法船員法等ニ於キマシテモ、總テ噸數ヲ以テ此適用ノ標準
ト致スコトニ改正ニナリマシタ、又實際ノ上カラ見マシテモ從來ノ如ク登簿噸數ヲ基礎
ト致シマスヨリ總噸數ヲ基礎ト致シマシタ方ガ事實ニ適スルコトデアリマス、是亦
改正ヲ必要トスル譯デゴザイマス、其外モウ一ツ同ジ點ニ付テハ改正デゴザイマスガ、ソレ
ハ此從前ハ登簿噸數十五噸ヲ以テ最下限ト致シマシタノデアリマスガ、唯今申述ベマシ
タ商法、船舶法等ニ於キマシテ總噸數二十噸ヲ以テ最下限ト致シマシタノデアリマスガ、
其點モ他ノ法律ト一致イタシマス、船舶職員法ニ改正ヲ加ヘル必要ガゴザイマ
ス、第二ニハ此從前ハ沿海航路ヲ航行イタシマス船舶ノ乘組職員ノ制ガゴザイマス、從
テ此帆船ハ近海航路ノ職員ヲ乘セナケレバナラヌト云フ實況ニ立至リマシテ、船舶ノ方
カラ申シマス上フ航路ハ成ルホド延長イタシマス、之ニ對シテ必要ヨリ餘計ノ
職員ヲ乘セナケレバナラヌ、事實其船舶ガ航海スル必要ヲモテ居ル所ニハ以上ノ職員ヲ
乘セナケレバナラヌト云フ結果ヲ或ル場合ニハ來シマス、此度特ニ沿海航路ヲ航行スル帆
船ニ付キマシテ職員ノ規定ヲ設ケマシタ、第二ニハ此海員ノ履歷ニ依リマシテ免狀ノ效力
ニ制限ヲ加ヘテ特別ノ免狀ヲ發スルコト云フコトノ規定ヲ置イタノゴザイマス、是ハ船舶
職員法ニ免狀ノ種類ハ是ニテアルト云フコトガ規定デゴザイマシテ其規定以外ニハ免
狀ハ無論出マセヌ、而シテ其免狀ノ效力ト云フモノモ亦其法律ニ規定シタル所ノ效力
ニ限ラレテ居ル譯デアリマス、然ルニ段々海運ノ實際ノ有様カラ研究シテ見マス上フト、
或ル場合ニ此免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタモノヲ發行スルコトノ出來ル様ニナッタ方ガ大
變便利デアルト認メタノゴザイマス、其實例ヲ申上ゲマス上フト、近年此汽船ノ増加
ハ著シク多クナリマシテ、海員トナル者ガ、始ヨリ終マデ汽船ニ職ヲ執ッテ居ル様ナ者ガ
段々出來ルノデアリマス、然ルニ現行法ノ規定ニ據リマスルコト云フト甲種ノ免狀ヲ受ケ
マスニハ甲種船長デアリマシテモ、一等運轉士デモ二等運轉士デモ其甲種ノ免狀ヲ受
ケマスニハ、帆船ノ履歷ト汽船ノ履歷ト兩方備ヘテ居リマセヌケレバ其試驗ヲ受ケル
コトガ出來ナイノゴザイマス、而シテ其帆船ニ付キマシテハ尙ホ制限ガアリマシテ所
謂此橫帆裝置ト申シテ横帆ヲ具ヘタ船デ修業シナケレバナラヌノデアリマス、併シ前
申上ゲマシタ様ニ汽船ノ發達ガ著シキ爲ニ帆船船ニ乗ルコトヲ必要トセヌト云フ人ガ中
ニハアル、其人ニ對シマシテハ尙ホ帆船ノ履歷ヲ要シ試驗ヲ受ケナケレバナラヌト云フ
コトハ、サウ云フコトハ多少勞力ノ經濟ノ上カラ見マシテモ必要ノイ様ニ考ヘラレマス
デ、サウ云フ場合ニハ汽船ニ限ッテ船長ノ職ヲ執ルコトノ出來ル様ナ仕組ヲ設ケマス方ガ
實際ニ適切デアッテ宜カラウト云フ、斯ウ云フ考デ此效力ニ制限ノアル免狀ヲ發スルコトガ
出來ルト云フコトニ法律ヲ改正イタシタイト云フ考デゴザイマス、モウ一ツ申上ゲマス上

關士、蒸氣機關ヲ取扱フ職員ノ方デゴザイマスガ、是亦場所ニ依リマシテハ普通ノ海上ヲ航行スル船舶ノ職員ト同様ナ技術經驗ヲ要サナイ場合モゴザイマス、例ヘバ河トカ湖水トカ云フ場所所仕事ヲ執リマス者ニ付テハ海ノ履歷ハ必要デナイケレドモ、現行法デハ機關士ト云フモノハ何レノ場所ニモ法律ノ規定ニ據テ海デモ河デモ仕事ヲ執ル様ニナツテ居リマス、又免狀ヲ交付イタシマスルニモ矢張り何レノ所ニモ出來ル様履歷ヲ必要トシテ居リマシタデゴザイマス、斯ノ如キ場合ニモ矢張り此改正ガゴザイマス云フト履歷ニ付キマシテ制限ガアル場合ニハ免狀モ亦制限ヲ加ヘタモノヲ發行スルコトガ出來ル様ナ便利ノ方法ニナラウト思ヒマス、ソレカラ其次ハ船舶職員法ニ於キマシテハ免狀ノ種類トカ職務トカ極ク嚴格ニ規定ニナツテ居リマス、是ハ固ヨリ然ルベキ所デハゴザイマスケレドモ或ル場合ニハ其職務相當ノ他ノ免狀ヲ以テ代ヘルト云フコトガ必要ナル場合ガゴザイマス、殊ニ此時局ノ如キ急ニ船舶ヲ運送スル場合ニハ技術上差支ナイト認メタ免狀ヲ持ツテ居ル者ハ、假令法律ニ規定ガナイ場合デモ他ノ職務ヲ執ラスコトモ少シモ實際上差支ナイデアラウト思ヒマス、事實ヲ申上ゲマス云フト近年即チ昨年中殊ニ此近海航路ヲ航行イタシマス船舶ガ著シク殖エタ其船舶ニハ或ハ甲種船長、甲種一等運轉士若クハ甲種二等運轉士ノ噸數ニ依リマシテ乗組員ヲ要スルノデゴザイマスガ、急ニ増加イタシマシタ爲ニ甲種船長、一等運轉士、二等運轉士ナドノ人ヲ得ルコトガ困難デアル、然ルニ一方ニハ乙種船長ノ如キ人ハ大分ニ餘ッテ居ル様ナ有様アリマス、此事實如何ト顧マスレバ乙種船長ヲ以テ經歷トシタ人ハ近海航路デアレバ甲種ノ運轉士殊ニ甲種二等運轉士ノ如キ仕事ハ充分ニ執レルノデゴザイマスガ、若シ今日ノ如ク多クノ船舶必要トスル場合ニハ代用ノ制ヲ設ケルコトガ出來ルナラバ大變便利ヲ得ルト考ヘルトデゴザイマス、是ハ固ヨリ時局ニ付テノ必要ナリト云フノデアリマセヌ、平時ニ於キマシテモ矢張り此必要ナル規定ヲ設ケル積リデゴザイマス、ソレカラ次ニハ此船舶職員法ノ規定ハ現在ニ於キマシテハ如何ナル船舶ニアリマシテモ、此表ニ御覽ノ通り如何ナル航路ヲ歩ク船舶、如何ナル噸數ノ船舶ニハ是ノ職員ヲ乗セルト云フコトガ極ク居リマス、縱令其構造ガ特別デアッテモ、特殊ノ航路デアッテモ甚ダ區別ト云フモノハゴザイマセヌ、ケレドモ段々實際ノ經驗ニ照シテ見マス云フト特殊ノ構造ヲ持ツ居ル船舶、特殊ノ航路ヲ歩ク船舶等ハ特別ノ乗組員ヲ以テ之ニ乗セルト云フコトガ實際ニ適スル様デゴザイマス、ソレデ此度此改正ヲ加ヘマシテ特殊ノ船舶ニ付キマシテハ特殊ノ乗組員ヲ之ニ置クト云フコトノ途ヲ開キタイト考ヘマス、實例ヲ申上ゲマスルト云フト漁業ニ従事スル船舶デアルトカ、或ハ石油發動機ノ機械ヲ持ツ居ル船舶デアルトカ河ノミヲ航行スル船舶デアルトカ云フヤウナモノニ付キマシテハ普通ノ例ニ依ラズシテ特別ノ乗組員ヲ以テ之ニ従事セシムルコトガ出來ルト云フコトニ致ス積リデゴザイマス、ソレカラ此船舶検査法ニ於キマシテハ外國船舶デアリマシテ帝國ノ沿岸ヲ歩キマスル場合ニハ、沿岸ヲ常時歩ク場合ニハ日本ノ検査法ノ下ニ検査ヲ受ケルト云フコトノ規定ガゴザイマスガ、職員ノコトニ付テハ其制限ガ從來ナイノデゴザイマス、此度此命令ノ規定ニ依ッテ必要ナリト認メマスル場合ニハ外國船舶ニ對シテ、矢張り日本ノ法律ニ依ッテ免狀ヲ持ツ職員ヲ乗込マセルコトガ從來ルヤウニ規定ヲ設ケテ置キタイト思ヒマス、其外罰則中何人ニ對シテ罰則ヲ適用スベキカト云フ明ナラヌ箇條ガゴザイマシテ、ソレハ此度ハ改正ヲ加ヘマシテ明カニ致シ

タノデゴザイマス、要スルニ是亦從來ノ經驗ニ據リマシテ必要ナル改正ヲ加ヘタノデゴザイマシテ、唯今申述ベタ通り船舶職員法ノ改正ニ至リマシテハ目下ノ事情ニモ急務ヲ感ズル所デゴザイマスカラ、御審査ノ上成ルベク速ニ御決議ヲ希望イタシマス、尙御尋ニ應ジマシテ巨細ノ點ハ申述ベル積リデゴザイマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 兩方混ジテ御質問ガアレバ混雜シマスカラ、船舶法中ノ方カラ御質問ヲ願ヒマス、……如何デスカ、時間モ進ミマシタガ、是ダケニシマシテ午後開キマセウカ、或ハ御質問等モゴザイマセバ他日ニ致シマセウカ、如何イタシマセウ

○男爵毛利五郎君 船舶法ニ就テハ別段質問モ無イヤウデゴザイマスカラ、ソレダケヲ今日御濟マシナツテハ如何デスカ

○黑岡帶刀君 第十四條ノ船舶法ノ中ニ第二十條ニ掲グル船舶トナリタルトキニ改正メ下アリマスガ是ハ如何ナル例ガアリマスカ、其例ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 御尋ニ御答イタシマスガ、主トシテ起リマシタ例ハ船舶ノ改正ニ依リマシテ噸數ガ減少イタシマシタ例デゴザイマス、實例ハ河船デゴザイマスガ、此二十噸以上ノ船舶ガ總噸數二十噸未滿ニナリマシタ、ト申シマスノハ御承知ノ通り船室ノ改造デツキバウズノ改正等ニ依リマシテ噸數ガ減少イタシマシタ場合デゴザイマス

○黑岡帶刀君 重モニ小サイ船舶デゴザイマスナ

○政府委員(内田嘉吉君) サウデス

○委員長(伯爵德川達孝君) 船舶法中ノ改正ノ方ハ別段御質問等ハゴザイマセヌカ

○子爵永井尚敏君 私ハ能ク船舶法ハ心得マセヌガ、チヨット伺ッテ置キタイノデスガ、今マデハ官廳カラ抹殺ノ登錄ヲスルトカ云フヤウナ手續ハ無カタノデスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 永井子爵ニ御答イタシマスガ、唯今ノ所デハ事實抹消ヲナスベキ場合ニ其事實ヲ管海官廳ニ於テ認知イタシマスト無論其當事者ニ向ヒマシテ手續ヲ盡スベキコトヲ督促イタシマスデゴザイマス、然ルニナカノ其手續ヲ施行スルニ至ラヌノデゴザイマス、デ罰則モゴザイマシテ、サウ云フ場合ニハ罰則ノ裁判ノ方ノ手續ヲナスコトモ出來マスルデアリマスガ、罰則ハ罰則トシテ適用ヲサレマシテモ其他ハ本人ノ申請ガナイト出來ヌコトニ今日ノ法律デハナツテ居リマス、誠ニ其事實上困難ヲ感ジテ居リマスルデゴザイマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 別段御異議又ハ御質問等ガアリマセヌケレバ、船舶法中ノ改正ノ方ダケヲ採決シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵德川達孝君) ソレデハ別段御異議ガゴザイマセヌケレバ原案通り可決セルモノト看做シテ宜シウデゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵德川達孝君) 然ラバ船舶法中ノ改正案ハ可決ニナリマシタ、ソレデモウ時刻デゴザイマスカラ此船舶職員法中改正法律案ノ方ハ午後カ又他日ニ致シタイト思ヒマス

○黑岡帶刀君 成ルベク明後日ニ願ヒタイ

○委員長(伯爵徳川達孝君) ソレデハ次會ハ明後二十八日ノ午前十時、若シ本會
ガゴザイマスレバ議事散會後ト云フコトニ致シマス、今日ハ是デ散會
午後零時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵徳川 達孝君

委員

子爵永井 尙敏君

男爵前島 密君

黒岡 帶刀君

男爵毛利 五郎君

田島竹之助君

政府委員

遞信次官 田 健治郎君

遞信省管船局長 内田 嘉吉君

明治三十八年一月二十五日印刷

明治三十八年一月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局